

育休経験者座談会

私たちのリアルな声

仕事と子育ての両立に、不安や戸惑いを感じたことはありませんか？

今回は育休からの復帰を経て、現在も当社で活躍する3名の社員が座談会に集結。

引き継ぎの工夫から復帰後のリアルな悩み、そして会社のサポートまで。

経験者だからこそ語れる本音には、これから子育てをする方へのヒントとエールが詰まっています。



岩槻第二工場

しばた みさと
柴田 実里さん

Misato Shibata

営業部

ふるた なおみ
古田 直美さん

Naomi Furuta

積算部

えんどう さえこ
遠藤 沙枝子さん

Saeko Endo



●●● 育休前の引き継ぎでの工夫と苦労

三者三様の工夫で、未来の自分へバトンパス

遠藤さん 私の部署では常に情報を共有する体制ができています。特別な引き継ぎを行わなくても、周りが自然に業務を振り分けてくれていたため、最終日まで普段通りに働くことができました。

古田さん 所属部署は人手不足で業務量が多く、誰か1人が休むと業務が滞る状況でした。そのため、工場長に業務時間内のマニュアル作成時間確保をお願いし、引き継ぎに必要なマニュアルを作成しました。そして、産休3か月前から本格的に引き継ぎを開始。工場長とも密に情報共有し、急な休みにも備えました。



柴田さん 産休前は工場現場作業員として働いていました。お腹が大きくなることを見越し、私にしかできなかった業務を安定期から後輩に少しずつ引き継ぎました。「1人で大丈夫」なレベルになるまでマンツーマンで丁寧に教え、最終的には事務作業に切り替えてもらうなど、周囲の協力が助けられました。

●●● 育休のイメージと現実

孤独、不安、そして見えてきた新しい景色

柴田さん 周囲の助けを借り、ゆとりある育児を想像していましたが、現実は大きく異なりました。赤ちゃんと2人きりのときは「孤独」を強く感じ、精神的に辛い日々が続きました。大人と話す機会が極端に減ったことも、想像以上の辛さでした。

遠藤さん 育休中は、「仕事の内容を忘れてしまうのでは」という不安が常にありました。実際に復帰すると、忘れていたことはあっても体が覚えているもの。少し経てば自然と思い出し、案じたほどの問題はありませんでした。

古田さん 責任感から、育休中も「残されたメンバーは大丈夫かな」と仕事のことが頭から離れませんでした。しかし復帰後に、いなければいらないに組織は機能するのだと実感。もっと肩の力を抜いて、育児に専念しても良かったと思います。

●●● 復帰後の仕事と育児の両立について

日々の奮闘を支える、時間術と心の切り替え



柴田さん 夜にやるべき家事を朝に前倒ししています。夫に子どもの朝ごはんをお願いし、その間に自分の支度と並行して夜の準備などを済ませます。お迎えから寝かしつけまではあっという間です。朝の時間の使い方が仕事と育児の両立の鍵ではないでしょうか。

古田さん 当初は休むことに申し訳なさを感じましたが、先輩ママの「自分が割り切ることが大切」という言葉に気持ちを切り替えること

ができました。出勤できる日は100%の力で貢献し、休むときは回復に専念する。このメリハリが大事だと感じています。会社の制度で特に助けられたのは、「時間単位産前補助制度」です。実はこの制度、私が第1子の妊娠時に有給を使い切ってしまった経験をきっかけに作っていただいたもの。年次有給休暇とは別に、時間単位で休みを取得できます。つわりで辛かった今回も、気兼ねなく休むことができました。心身の負担が大きく減り、本当に心強くありがたい制度です。

遠藤さん 子育てと仕事の両立は毎日が時間との戦いです。帰宅後はダッシュで家事と育児をこなす日々ですが、「やるしかない」という気持ちで乗り越えています。自然と仕事も、時間内に終わらせるよう、効率を以前より強く意識するようになりました。

●●● 仕事と育児の両立のために、会社や業界に必要なこと

「気兼ねなく」休むための制度と雰囲気づくり

柴田さん 男性の育休取得には、まだ「周りの目が気になる」といった心理的なハードルがあると感じます。誰もが気兼ねなく制度を使えるような、職場全体の雰囲気づくりがもっと進むと良いと思います。また、子どもの体調不良の際は、自分の有給を使わずを得ないのが現状です。有給とは別に子どものための有給の「看護休暇制度」があれば、心のゆとりがまったく違ってくるはず。有給が減る焦りからも解放されるはずです。

古田さん パートナーが育休を取りたくても、職種や収入面で難しい現実があります。リモートで業務を補えるようにするなど、育休中の収入をカバーできる柔軟な制度があれば、男性も休みやすくなるのではないのでしょうか。

●●● 今後のキャリアプランと、後輩社員へのメッセージ

経験を力に変えて、自分らしい未来を描く

柴田さん 産休前に目指していた「工場長」という目標は、部署が変わったことでリセットされましたが、また新たな目標を見つけたいと思っています。後輩の皆さんへは、「しんどいことは、徐々になくなっていくよ」と伝えたい。子どもの存在が、すべての辛さを忘れさせてくれます！

遠藤さん これからも積算の仕事でスキルアップし、戦力として貢献したいと考えています。これから育休に入る方へ伝えたいのは「考えすぎないこと」。会社には助けてくれる仲間がいます。1人で抱え込まず、周りを信じて頼ることが大切です。

古田さん 今後はプレイヤーとしてスキルを高めていくことが目標です。皆さんには「自分で情報を集める」ことをお勧めします。会社の制度はもちろん、市役所などで得られるたくさんの公的なサポートについて早めに情報収集しておく、いざというときに慌てずに済みます。

夏の思い出紀行 ～私が訪れた、 とっておきの場所～

今回は、北原さんと伊藤さんの夏の過ごし方をご紹介します。高濃度の炭酸泉で心身ともにリフレッシュした癒しの旅と、数々の歴史的建造物を巡る壮大な旅。お二人が出会った、とっておきの日本の魅力に迫ります。



きた はら とも こ
積算 北原 智子さん

私の思い出の夏

昨年、岐阜県下呂市小坂町にある湯屋温泉の宿に宿泊しました。温泉宿が数軒あるだけの何もない山の中のような所でした。ここを選んだのは、「高濃度の天然の炭酸泉に入れる」という理由からです。



印象的だったこと

美食と絶景に癒された思い出の温泉旅

実際にお湯に浸かってみると、炭酸泉のためみるみるうちに肌に気泡が付いてきました。肌触りがとても心地良く、お湯もやわらかくなめらか。しかも湯上りのお肌はすべすべになり感動しました。地元の食材や炭酸泉を使った宿の食事も美味しく、帰りの山道では野生のカモンカにも遭遇。思い出深い旅行になりました。



い とう なお こ
積算 伊藤 直子さん

私の思い出の夏

昨年は、愛知～岐阜～滋賀～福井～石川～富山～新潟～長野～群馬と2泊3日で歴史に触れ合う気ままな車中泊の旅をしました。

印象的だったこと

歴史の息吹を感じる圧巻の城郭建築美

関ヶ原古戦場・彦根城・永平寺・金沢城・兼六園などを観た中で、一番心に残ったのは彦根城です。徳川家康の指示で彦根の地に城を建てた井伊家。木造で建てられている彦根城、天井の梁・梁と梁のつなぎ方、天秤櫓・石垣・破風・狭間・天守閣からの琵琶湖の眺め。3度目の登城でしたが国宝の彦根城に触れ合うのは最高でした。



藤田'S TIME

～藤田社長が語ります～

10年後の藤工業を支える人財

売上50億円を達成し、社員数も200名を超えた今、改めて会社の未来を考えてみませんか。藤工業がお客様にとってなくてはならない存在であり続けるためには、何が必要なのでしょう。



代表取締役社長
ふじた きよし
藤田 清志さん

10年後の藤工業を支える人財とは

ミスやクレームに向き合う姿勢

お客様からの苦情やクレーム、社内のミスが、最近増加しています。「ミスは起こるもの」という前提で仕事に向き合うのではなく、「ミスを起こさない」という前提で仕事に向き合ひましょう。特にお客様を巻き込むミスやクレームは、会社の信頼を大きく揺るがします。与えられた仕事には、強い意思を持って真剣に取り組み、万が一、ミスが起きた際は、どれだけ迅速に対応できるかが重要です。

大切にしたいのは「信頼」

藤工業は今期、売上50億円を達成し、社員数も200名を超えました。ベテランに加えて若手や外国人社員も増えている今は、まさに変革期と言えます。このタイミングで足元を見つめ直し、原点に立ち返る意識を持つことが重要です。当社は大企業にはできないスピード感と「藤工業に頼んでおけば大丈夫」という信頼でここまで成長してきました。信頼は一瞬で失われます。だからこそ、お客様には仕事で応え続けるしかないことを、改めて肝に銘じましょう。

原点回帰と3Sの精神

藤工業の経営理念である3S（スピード、信頼、創意工夫）が、いつも心にありますか。これまで、お客様からの信頼と対応スピードは、当社の強みでした。人間は忘れる生き物ですから、もしシステムで対応できないなら、メモを取るなど、もう一度シンプルな手法に立ち返りましょう。それができれば、藤工業はこれからも成長し続けられるはずです。

次世代を担う若手の皆さんへの期待

私は、会社を愛し、藤工業を大切に思う人こそが、会社のトップや経営幹部に常にいるべきだと考えています。そのためには、私が社員の皆さんに、どれだけ成長の機会を与えられるのかが問われていると思います。「藤工業が好き、会社が好き、仕事が好き」という言葉は、シンプルに聞こえるかもしれませんが、実現は容易ではありません。今後は、どのような人財に藤工業の将来を担ってほしいと考えているかについても、積極的に発信していきたいと思っています。

9月のお誕生日

お誕生日を迎える皆さん、おめでとうございます！

9/2 AMONARES MARK ALFRED GERZAさん
9/2 NGO TAT TIENさん
9/4 安田 信仁さん
9/6 NONG VAN PHUCさん
9/7 重田 翔之介さん
9/7 BUI VIET HUANさん
9/7 LE VAN CONGさん
9/9 佐藤 達哉さん
9/9 BONGHANNOY ALVIN GOさん
9/9 櫻井 誠さん

9/11 井原 秀和さん
9/12 LU VAN NGUYENさん
9/12 田子 邦男さん
9/12 武島 梓真さん
9/13 伊藤 一徳さん
9/15 島 サムエルさん
9/17 山端 しのぶさん
9/17 大橋 アイさん
9/25 宮田 法子さん
9/25 石川 智之さん
9/27 河津 洋子さん
9/28 BEGASA ALDRIN DEGUMAさん
9/29 DIVINAGRACLA LEVIN REY CALIMOTANさん



閲覧状況アンケートにご回答ください！

